

平成21年度 吉野作造記念館 【管理・運営】 についての報告

分類	項目	内 訳
施設管理関係	周辺環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・当館の清掃職員で手に負えない箇所を、シルバー人材に依頼 1.除草・草刈作業・・・6月2日、7月15・17・22日、8月11日、10月14日実施。(北側庭・中庭の除草・草刈作業) 2.除雪作業・・・12月→1回、1月→7回、2月→1回、3月→1回、作業実施。
	館内清掃	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回リフレッシュかまぼろし依頼・・・6月1日、11月9日作業実施。 ・パート職員による館内清掃・除草等の作業実施。
記念館の管理	日常整備・清掃	<ul style="list-style-type: none"> ・大崎市に修繕箇所を下記の通り申請している。 ★修繕箇所 <ol style="list-style-type: none"> 1.資料収蔵庫専用空調機被覆材のコンクリート壁の結露防止の為、ウレタン吹き付け工事3月に実施。 2.資料収蔵庫専用の空調機被覆材のため交換3月に実施。 ★未修繕箇所 <ol style="list-style-type: none"> 1.外灯9本撤去・・・元池後3本・北側の庭3本・南側の庭3本。 2.研修室内空調ダクト(吸込み口延長する)修繕。 3.常設展示室機材等の交換……………①スラトプロジェクター装置交換(3台)・②プロジェクター交換・③ソケット型スクリーン交換。 4.天井ベニヤ板劣化の為張替え……………①正面玄関通路天井ベニヤ板張替え・②職員出入口天井ベニヤ板張替え ③休憩ラウンジ北側天井ベニヤ板張替え。 5.空調修理(廊下等) 空調機能不調の働きを全行っていない状況で、温度の調整がうまくできない。 6.空調排気口ガラスカバー・ALKステンレス板交換工事 (排気口のつなぎステンレス製のパイプ等がつぶれ、や接地面が破損状態) 7.休憩ラウンジ屋上補修 (屋根に亀裂が入り雨が降ると屋根まで水が落ちるようになるため早めに修繕が必要) 8.職員出入口南側にネットフェンス設置 (職員出入口南側は、荒雄公園との仕切りがなく出入りが自由になっていて、子供たちが自由に出入りし、中庭の塀に登り危険、管理と安全性に問題がある)。
	修繕等 (修繕箇所が見つかれば大崎市と協議を行い修繕する)	<ul style="list-style-type: none"> ・吉野作造記念館が修繕→全項目を修繕した。 1.講座室内スポットライト電源装置修繕・・・スポットライト電源装置が天井板から抜かれた為修繕。 2.休憩ラウンジの電源タップ交換・・・子供達がプラグアダプターを挿入しプラグミコソをする為カバーを取り付けた。 3.流し場の温水蛇口交換・・・温水蛇口劣化と調整蛇口内弁破損のため交換。 4.吉野作造碑の修繕・・・円形型吉野作造の顔の周りが劣化しコンクリートとの接地面が抜かれと碑全体の接地パネが劣化している為修繕。 5.正面入り口ライト磨き・・・銅板のため、腐食が著しく文字が見えなくなっていたため磨いた。 6.休憩ラウンジ床面修繕・・・床面とガラス壁の接地箇所が劣化し、白く腐食し手きたのでソリでコーキングした。 7.屋上庭園案内碑修繕・・・庭園案内の上部が劣化し接がれたため、パネでコーキングした上部をステンレスで接がれないよう修繕した。 8.波状アコック進入防止策棒修繕・・・進入防止のために、チェーンとヒューズをつないでいる柵棒が根元から折られたため修繕した。 9.ソケット部品交換(市への寄贈品)・・・用紙を引くローラーが劣化し引く力がなくなり印刷に支障きたしたため、ローラーを交換。 10.休憩ラウンジ内両窓鍵修繕・・・休憩ラウンジ南側窓の開閉鍵が劣化し自然に開閉するようにになった為、鍵の内部を修繕。 11.受付右ラウンジ蛍光灯安全器修繕・・・蛍光灯安全器が劣化し蛍光灯が付かなくなったため交換(2箇所分)。
設備のメンテナンス	ホームページアクセス者へのサービスを高め増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・各業者別メンテナンス(全7項目) 1.自動ドア(寺岡テクノサービス) 2.受水槽(大平エンジニアリング) 3.常設展示室(乃村工業社) 4.消防設備(同和警備) 5.館内警備(同和警備) 6.館内電気関係(東北電気保安協会) 7.館内空調関係(きくち設備工事)
	随時、HPで事業の新しい情報提供を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> 年3回の点検(4月23日、8月7日、12月9日実施) 年1回点検(10月26日実施) 年1回点検(10月26日実施) 年2回点検(6月3日、12月16日実施) 休館日：午後5時30分から翌朝7時30分 開館日：午後5時30分から開館日の午前7時30分まで 年6回点検(4月14日、6月18日、8月12日、10月14日、12月15日、2月16日実施。年合計6回中5回点検実施) 年1回点検(11月16日実施、12月7日→11月残箇所を実施)
記念館の管理	職員への能力向上にいかした活動	<ul style="list-style-type: none"> 1.特別企画・写真展やGWイベント、8月のイベントで、職員に企画を任せることによって資質の向上を目指しました。 ・結果、来館者に好評であり、各職員の自信にもつながり人材の層が厚くなった。 1. 受入：小・中・高等学校教諭社会体験研修会のため、1名の先生を3日間受け入れた。 ・職員が担当日に責任を持ち、先生に自分の職務内容を説明し仕事を一緒にしました。 7月23、24、25日 県立黒川高等学校 田中政幸教諭受入・研修実施。 2. 受入：各大学の博物館実習生研修受け入れ。 ・東北学院大学1名、京都女子大学1名、東北生活文化大学1名計3名を受け入れ、 8月18日～23日まで櫻田学芸員が実習スケジュールを作成し指導を行った。各職員も手助けしたことで能力アップにつながりました。 千葉 佳奈 東北生活文化大学 3年生 美術専攻 古川工業高等学校出身 千島 真美 京都女子大学 4年生 古代中世史専攻 古川黎明高等学校出身 加藤沙耶香 東北学院大学 3年生 近現代史専攻 古川黎明高等学校出身 3. 派遣 <ol style="list-style-type: none"> 1) 4月15日 櫻田学芸員・中鉢職員：宮城県図書館へ出張・・・テーマ「展示開催の調査と史料等の収集の為。」 2) 5月29日 櫻田学芸員：平成21年度宮城県博物館等連絡協議会及び研修会参加(講演 「仙台市天文台のこの1年」) 3) 6月17日 田中館長・中鉢職員：記念する会研修視察に同行・・・富谷町民族センター(内ヶ崎作三郎氏について説明頂く)、岸伏桂介美術工芸館(特別展日本の絵画)、仙台文学館(井上ひさし展) 4) 6月30日 菅原職員：平成21年度大崎生涯学習センター利用懇談会参加(視聴覚教材・機材・プラネタリウム等の利用について)・・・パレット大崎にて 5) 7月14日 佐々木職員：読売・吉野作造賞受賞者贈賞式に佐藤専務、石ヶ森財務に同行出席の為。東京出張(会場：日比谷日本プレスセンター) 6) 9月9日 中鉢職員・本間職員：美里町千葉亀雄記念館訪問・・・企画展の吉野作造と文学者に関して調査の為。 7) 10月4日 田中館長：東北大学資料館訪問・・・吉野作造顕彰講座第3回開催時の資料収集の為。 8) 10月17日 田中館長：阿部次郎記念館訪問・・・企画展に使用する資料借用の為。9) 11月3日 田中館長：吉野恒子さん宅訪問。 9) 11月3日 田中館長：吉野恒子さん宅訪問。 第6回 南原繁シンポジウム出版。 第1部講演・・・成蹊大学法学部教授 加藤節氏「南原繁の戦後体制構想-ソノチリズムと子どもラウンジとをめぐって」 第2部パネルディスカッション・・・「南原繁をめぐる人々(その4)」コーディネーター 東京大学出版会 竹中英俊氏 10) 11月11日 中鉢職員・菅原職員：宮城県立図書館訪問・・・企画展に使用する資料調査の為。 11) 11月13日 櫻田学芸員：東京大学資料室訪問・・・企画展に使用する資料借用の為。 12) 3月19日 田中館長・佐々木職員：亘理町立資料館訪問・・・企画展開催時に参考にする為。(企画展：子供たちの教科書拝観) 13) 3月20日 中鉢職員：仙台市民スポーツセンターで開催される、「吉野作造を偲ぶ朗読会」一設77年」に参加、今後の事業開催の参考の為。 14) 3月23日 田中館長：東京の憲政記念館にて映画「太陽と月と」が完成試写会が行われ招待され出席。(一部→日本憲法の水脈・二部→日本憲法誕生へ)
	各種研修の受け入れ及び派遣	<ul style="list-style-type: none"> 1. AEDの使用手順訓練(年2回)・・・6月24日・11月25日に記念館内において大崎消防署救急隊員からゲーム使用し、心肺蘇生・AED等の訓練を受けた。 2. 危険箇所全館チェック(年2回)・・・6月24日～30日・12月9～13日に実施。 3. 危険予知館内講習とビデオにて講習(年1回)・・・6月2日実施(これだけ守りたい！職場の地震対策、他ビデオ2本)。 4. 災害マニュアル教育(年2回)・・・5月21日・10月22日実施(吉野作造記念館災害マニュアル各職員に配布) 5. 避難防火訓練(消防署と連携で年2回)・・・6月3日消火器使用による防火訓練実施・12月16日火事を想定した避難訓練実施。 6. 災害・緊急時拠点受入教育(年1回)・・・10月22日拠点受け入れマニュアルによる教育実施。 ・研修室ステージに上がる可動階段が左右の段差が違いため、安全を考え2段式階段を2箇所に作成した。
その他		

平成21年度 吉野作造記念館 【事業】 についての報告

※参加人数は来観者数とは一致しません

■頭形型の事業		実施時期等	目標人数	参加人数	事業進捗状況
企画展 「吉野作造と文学者」	企画展 21年11月21日 ～22年1月31日	900名	447名	<p><企画展内容> ・タイトル:「吉野作造と文学者」 ・展示構成: 1.宮城出身または、宮城に関わった文学者→真山青果、三浦吉兵衛、土井晩翠、阿部次郎、服部撫松、戸部泰一、千葉亀雄 2.尊敬、共感する文学者→谷崎潤一郎、森鷗外、武者小路実篤 3.活躍を共にした文学者→有馬武郎、与謝野鉄幹、与謝野晶子、木村敏 4.弟子→大佛次郎 5.文学者になった吉野作造→『風の生涯』、『小説 東京帝国大学』、『兄おとと』</p> <p>・料 金: 310円(一般)※常設展示室の見学もできます。 ・企画展入館者: 11月21日～30日→96名(有料→90名)・12月1日～28日→199名(有料→106名)・1月5日～31日→152名(有料→96名) ※担当職員の不調不良等の影響もあり日程を変更しました。</p>	
企画展 「吉野作造と文学者」	企画展 21年4月29日 ～9月27日	800名	1,407名	<p>《テマ→展示》 ・タイトル:「吉野作造と文学者」 ・展示内容: 1.『蒲陽先生』のペンネームで出版された、吉野作造の2番目の著作「試験成功法」。出版先は宮城伊兵が普及「昭文舎」で最初の出版であり吉野作造と宮城伊兵衛のかかわりを地元史料から紹介する。 2.吉野作造が教えた『ノート』についてや、『赤松克隆ノート』、真収蔵史料『服部英太郎ノート』を展示紹介。</p> <p>・料 金: 310円(一般)※常設展示室の見学もできます。 ・テマ→入館者 ・4月29日～5月31日→235名(有料→210名)→※5月3・4・5日の入館者882名は含まない。 ・6月1日～30日→232名(有料→197名) ・7月1日～30日→324名(有料→133名) ・8月1日～30日→395名(有料→308名)→※8月1日サマーイベント入館者255名含まない。 ・9月1日～27日→221名(有料→139名)</p>	
企画展 「吉野作造と文学者」	企画展 21年10月 ～22年1月 6日開催	130名	129名	<p>吉野作造顕彰講座 タイトル:「吉野作造と文学者」 講師: 田中昌亮館長 講座回数: 全六回開催 → 申込み 30名 (受講料: 1600円)</p> <p>第一回 10月10日(土) 第一部 子の人生を支配する程の大いなる影響を与えた人・事件及び思想 第二部 朗読 1.「ごほん」岡田邦子、2.「神」松山善三、3.「A Mother's Lady」, 4.「きけわたつみの声」、5.「愛と死の肖像」ルイ・アラゴ、淡徳三郎 参加者21名</p> <p>第二回 10月24日(土) 第一部 栗野健次郎「栗野編音楽」、真山青果「羽虫は何故かには〜」、土井晩翠「晩翠草堂」、 阿部次郎「白雲の行方〜」、中央公論をめぐって 千葉亀雄、真山青果、滝田博彦 第二部 日記 1.「暗黒日記」清沢利、2.「或る青春の日記」北社夫、1948(昭和23)年6月3日、6月20日 ・1949(昭和24)年3月24日、5月28日、1952(昭和27)年1月「敗戦日記」高見順 参加者21名</p> <p>第三回 11月14日(土) 第一部 二人の足跡一文学史的に→栗野健次郎、佐々政一、土井林吉(晩翠) 第二部 啄木歌「一握の砂より」フランス語訳 内藤濯 作曲 小松清 レコード鑑賞 戦後の歌 8月15日と私 宮崎俊義、永六輔、小松左京、他3名 参加者19名</p> <p>第四回 12月05日(土) 第一部 小説の吉野作造 中野重治「むらさぎも」、松本清張「小説東京帝国大学」戸石泰一「小説秋の空」 第二部 辻井橋「風の生涯」、井上ひさし「兄おとと」 奥羽百文会と潤水、大熱→三淵忠彦(大漁)、真山青果 戦中 防空要員 1945(昭和20)年玉音放送 戦後の風物「ヤミ米、ヤミ煙草、馬車、輪タク、 お風呂、五右衛門風呂、リヤカー 陸羽黄線(古川～仙台)通勤・通学風景等 参加者23名</p> <p>第五回 12月19日(土) 第一部 黎明会の仲間→与謝野晶子・阿部次郎・有馬武郎 明治文化研究会の仲間→宮武外骨、斎藤昌三、木村毅 第二部 1948(昭和20)年(土)山形と仙台メーデー、1953(昭和28)年革命の指令を待っている人々 1945(昭和20)年8月15日の思い出 講座受講者各位 参加者21名</p> <p>第六回 1月16日(土) 第一部 「さまざまな青春」平野謙 真山青果、竹内仁、中野重治、亀井勝一郎 第二部 「押啓 ヲツカ一元帥様」占領下の日本人の手紙」リメンバー昭和1」柳井林二郎先生 参加者24名</p> <p>発行名称:「吉野作造研究第6号」 ・印刷部数:600部 ・掲載内容:企画展と吉野作造講座を中心に紹介。</p>	
研究調査事業 吉野作造 論文募集	一次審査 締切り 21年11月31日 結果通知 21年12月25日 まで通知	17名	17名	<p>吉野作造『吉野作造研究』論文を募集。 1)テマ→吉野作造の思想ならびに業績について 2)審査員: 大田雅夫氏、祇園寺則夫氏、田中昌亮(当館館長) 3)賞 金: 最優秀賞(1名)20万円、優秀賞(2名)各5万円 4)一次応募開始: 2009年7月1日 5)一次締切: 2009年11月30日 一次審査論文応募者17名(県内2名、県外14名、海外1名、) 一次審査会: 2009年12月19日、審査員→大田雅夫氏、祇園寺則夫氏、田中昌亮氏(当館館長) 一次審査通過者10名(県内1名、県外8名、海外1名) 一次審査結果通知: 12月25日までに本人に通知。 6)二次審査締切り: 2010年6月30日 二次審査結果発表: 2010年8月中旬まで本人に通知。</p>	
資料収集 保存登録		1,830名	2,000名	寄贈・購入資料情報登録件数(4〜3月:273件、トータルでの登録4215件)	
小計					
■発信型の事業	実施時期等	目標人数	参加人数	事業進捗状況	
中学・高校出前講座	通年			未実施	
人材育成事業 小・中学生 招館事業	21年4月～ 22年3月	180名	28名	<p>広報活動経過 ・4月2日: 大崎市教育委員会伊東敬一郎教育長に小中学生招館事業に対し後援の協力頂けるよう依頼提出。 ・4月15日: 4月2日付で伊東敬一郎教育長から後援名義の承認を得る。 ・6月9日: 各校に説明・来館活動……久光事務局長が、本年度の中学生招館事業による来館をお願いをした。 ①[三本中学校] 高橋校長先生に面会 ②[松山中学校] 吉田校長先生に面会 ・6月11日: 各校に説明・来館活動……久光事務局長が、本年度の中学生招館事業による来館をお願いをした。 ①[古川北中学校] 安孫子校長先生に面会 ・7月9日: 各校に説明・来館活動……久光事務局長が、本年度小中学生招館事業による来館のお願いをした。 ①[西古川小学校] 佐藤教頭先生に面会 ②[池月小学校] 菅原教頭先生に面会 ③[鬼首小学校] 今野教頭先生に面会 ④[上野目小学校] 伊藤教頭先生に面会 ⑤[中山平小学校] 石母田教頭先生に面会 ⑥[眞山小学校] 今野教頭先生に面会 ⑦[清滝小学校] 佐々木教頭先生に面会</p> <p>★中学生招館事業による来館中学校 ・9月17日: 松山中学校来館28名(引率者1名・生徒27名) 見学内容: ①スマホによる吉野博士の説明と質問20分 ②吉野博士生涯のビデオ20分上映 ③常設展示室見学30分(展示説明資料配布) ★今年度は、各小中学校イベントメニューが流行したため、集団での移動を控えており、招館事業は苦戦を強いられました。</p>	
小・中学校招館事業 以外の来館校		46名	46名	★招館事業以外での来館小中学校 ・7月8日: 女川第四中学校13名(引率者3名・生徒10名) ・11月25日: 北浦小学校33名(引率者2名・生徒31名) 合計来館者: 46名	
小計		180名	74名		

発信型の事業	実施時期等	目標人数	参加人数	事業進捗状況
人材育成事業 吉野ネットワー ク交流会	21年 8月31日 ～9月2日	15名	19名	活動経過 ・6月9日：各先生方へ事業開催に向けての主催者の意向を連絡。 ・6月29日：大川真先生と打ち合わせを実施。 ・7月13日：猪木武徳先生と奈良岡聰智先生と打合せ実施。 ・7月14日：苅部直先生と打合せ実施。(都合により欠席) 人材育成研修会期間→8月31日～9月2日まで テーマ：「日本近代史と吉野作造」 研修内容：8月31日(エッセイ)「研修室にて」終了後→加美交流センターに移動、交流会 ：9月1日(第1セッション) 講師：猪木武徳先生「公智と友情の書としての『丁丑公論』」 第2セッション 講師：奈良岡聰智先生「吉野作造と二十一ヶ条要求」 第3セッション(グループセッション)討論会(吉野班・福沢班の2グループ)に講師、学生が分かれ討論 ：9月2日(成果報告会(吉野作造記念館研修室にて実施)) ※人材育成研修会に参加の学生で1名が論文公募に応募し、二次審査へ進んでいる。
オビニオホール事業 読売・吉野作造賞 受賞者講演会 および展示	小池先生体調 不良の為中止	300名	0名	講演会：法政大学名誉教授小池和男氏 体調不良により中止。 受賞者書：日本産業社会の『神話』 料金：1冊→¥1890 紹介コーナー設置：読売・吉野作造賞受賞者紹介コーナーに著書設置
井上ひさし氏 講演会	21年4月11日	300名	308名	講師：名誉館長 井上ひさし氏 演題：「井上ひさしの吉野作造講座①」 料金：無料(講演会、常設展示室見学可) 共催開催：大崎市教育委員会、吉野先生を記念する会、吉野作造記念館
入選論文発表会				本年度は公募論文の一次審査発表まで。
記念館だより発行	22年4月1日 発行			①吉野作造記念館の1年の主たる活動内容を中心に掲載して、市民に情報提供。 ②年1回51,000部発行し、大崎市全戸に配布。
インターネット活用 システム整備	通年			①HPに常設展示室内をスマートフォンで紹介する。 ②読売・吉野作造賞贈賞式の画像をHPに掲載紹介する。 ③吉野ネットワーク交流会人材育成研修会報告会後のインターネット掲載中。
小計		615名	327名	

活用型の事業	実施時期等	目標人数	参加人数	事業進捗状況
GWイベント	21年5月3日 ～5月5日	700名	882名	GWイベント事業内容：5つの企画で、親子で楽しみながら吉野作造記念館を知って頂く。 ①工作コーナー(「ゾラ」の「ゾラ」の工作) ②お楽しみ劇場(「ゾラ」上映、紙芝居) ③折り紙・塗り絵コーナー ④きょうけいコーナー(「ゾラ」等の販売) ⑤子どもチャレンジ！吉野作造クイズラリー ・5月3日入館者292名・5月4日入館者211名・5月5日入館者379名
サマーイベント	夏休み特別展 21年7月18日 ～9月13日	250名	669名	夏休み特別展：写真展「知ろう！吉野作造」を開催 入館者：7月18日～31日→208名(有料40名) ：8月01日～31日→395名(有料308名)(8月1日のサマーイベント入館者含まない) ：9月01日～13日→66名(有料42名) ・7月01日～9月13日まで入館合計名(8月1日のサマーイベント入館者含まない) サマーイベント事業内容：5つの事業内容を実施 ①「お楽しみ劇場」……人形劇昔ばなし「ごぶりじいさん」、「カエルのピクシー」、「かわいそうなぞう」 ②「ゾラ」の「ゾラ」……手紙に添える・香りを添える。 ③「小学生あつまれ！」……Xクイズ ④「七夕手作りコーナー」……色づきの画用紙に、折り紙とクレヨンを使って七夕の絵を描く。 ⑤「きょうけいコーナー」……クイズラリー、ラムネ、水ヨーヨーの販売。 参加者数：255名(8月1日のみ参加者)
市民交流事業	アトリエかぜのこ 21年 4月1日～12日	159名	159名	1.共催：アトリエかぜのこ、吉野作造記念館 子供のアトリエ絵画展「みんなのでアトリエ」を開催。吉野作造記念館の廊下を利用し子供たちの絵画作品を展示。 開催日：4月1日～12日 入館者159名(有料者34名)
連携事業	平和アニメ 上映会 と写真展 21年7月 22日～26日	120名	148名	2.主催：大崎市政策課 平和アニメ上映会&写真展開催(吉野作造記念館の研修室・企画展示室を使用し展示) 開催日：7月22日～26日 入館料→無料 入館者148名
広報活動				報道機関を対象に各事業開催について記事の依頼、チラシによるPRを行った。 ・井上ひさし氏講演会、GWイベント、テーマ展示、吉野ネットワーク交流事業、 吉野作造研究公衆論文事業、サマーイベント等。 ・連絡マスメディア：大崎タイムズ、河北新聞、読売新聞、毎日新聞、朝日新聞、 NHK、東北放送、宮城テレビ、東日本テレビ、大崎ケーブルテレビ。
常設展示見直し				検討中
記念館友の会				検討中
読売吉野作造賞招致				検討中
チラシ活用				検討中
オビニオ				
小計		1,070名	2,113名	
合計		3,695名	4,514名	目標人数 3695名：実績 4514名